

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970500264
法人名	医療法人 仁照会
事業所名	グループホーム とさの森
訪問調査日	平成 19 年 12 月 13 日
評価確定日	平成 20 年 5 月 20 日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 2008年1月2日

【評価実施概要】

	3970500264
法人名	医療法人 仁照会
事業所名	グループホーム とさの森
所在地 (電話番号)	高知県土佐市高岡町甲931-5 (電話)088-854-1538

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年12月13日	評価確定日	平成20年5月20日

【情報提供票より】(H・19年11月26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 11月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9人
職員数	8人 常勤 3人, 非常勤 5人, 常勤換算 7.1人

(2) 建物概要

建物形態	併設 <input checked="" type="radio"/> 単独 <input type="radio"/>	新築 <input type="radio"/> 改築 <input checked="" type="radio"/>
建物構造	木造 造り	
	2 階建ての	階 ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	17,500 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	<input checked="" type="radio"/> 有 60,000円	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input checked="" type="radio"/> 有 40,000円	有りの場合 償却の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000 円		

(4) 利用者の概要(11月26日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	2名	要介護2	4名		
要介護3	2名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 82.4歳	最低	67歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	さくら病院、はるの森澤クリニック、秋山歯科
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

民家を改修した落ち着いた雰囲気のあるホームである。居室作りに職員が熱意を持って取り組んだ結果、職員の細やかな心配りと家庭的な手作りの温かさが感じられる。職員は利用者の身体機能維持と潤いのある生活を心がけており、柿や文旦、お芋やイチゴなどの畑づくり、天気の良い日は庭で利用者と共に手作りのランチタイムやティータイムを楽しみ、室内ではホールと食堂の往復など歩く事を大切に、また、スーパーが隣という立地条件を活かして買い物を兼ねた散歩も欠かさない。今後地域との関わりを今以上に持つことにより、更に地域に根ざしたホームとなることを期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	改善シートを作成し改善に向けた取り組みがされている。特に、ケアプランは独自のアセスメントシートの活用によりニーズが明確になり、居室作りは職員の熱意で細やかな心配りが感じられるものとなっている。書類の分類・整理や入浴支援など、未だ完全ではなく継続した取り組みを期待したい課題もあるが、前回評価で見出された課題はほぼ改善されている。
重点項目 ②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	出来るところから取り組んでいく姿勢が窺える。
重点項目 ③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議の主な討議内容は、外部評価や改善状況の報告などホームからの報告が多いが、地域の行事の情報や職員の異動に対する家族からの意見など、参加者からの意見が出やすくなるような配慮も感じられる。ホームのホールで会議を開催しているので利用者の参加は自然に多くなっているが、外部からの参加者が少ないのが現在の課題である。
重点項目 ④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族には苦情の受付方法などの説明をしているが、苦情や意見はあまり出していない。職員の異動が多いという苦情に対しては改善に向けた努力をしている。
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	買い物を兼ねた毎日の散歩で隣のスーパーとはなじみの関係ができており、また、歌や踊りのボランティアの受け入れ、敬老会への参加、小学校の運動会見学など、地域へ溶け込む努力がなされている。今後は町内会との連携などを通して、ますます地域との関わりが増えていくことが期待される。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 法人のグループホーム共通の理念であり、事業所独自の理念ではない。現在職員間で話し合いを進めている。 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容で「地域社会に生活の場を広げる。」という一文が理念にあり、開設当初より地域に根ざしたホームを目指していることが窺える。	○	事業所独自の理念については、現在職員間で話し合いが持たれているので、早期の策定を期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 日々の申し送りや朝礼などで理念の唱和及び話し合いがなされ、意識づけがされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面（言葉かけ、態度、記録等）において、理念が反映されている。 理念の冒頭に「心の平和をお守りします」と掲げられており、職員は利用者が穏やかに過ごせるよう言葉掛けなどに配慮している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 自治会には加入していない。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地区の小学校からの誘いで運動会を見学したり、地区のお祭りに参加するなど、地域との交流を図る努力がされている。	○	自治会への加入は、ホームが地域の一員として生活する上で必要な地域の活動や行事などの情報収集に役立つなど、地域に根ざしたホームづくりの基盤となるものであり、加入の検討が望まれる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 ホーム長が中心となり、職員の意見も取り入れて自己評価に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 前回の課題について改善シートを作成して改善に向けた取り組みをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 入居者の状態やホームの活動を中心に事業所からの報告が主となっているが、参加者から取り組みへのアドバイスを引き出すなど意見交換が出来るように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 地域包括支援センターとは、権利擁護を活用されている人との関係で行き来があるが、市の担当者との交流はない。	○	ホームから市へ出向き、ホームの様子や実情を知ってもらおうなど積極的な取り組みを期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族が訪問しやすい雰囲気を作り、来訪時には声がけて利用者の近況報告をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 毎月の通信に個別のお便りコーナーを設け、写真や文章で利用者の暮らしぶりを報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 電話などで連絡している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 金銭出納帳があり、確認報告はされている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 ホームの行事の後で家族参加の食事は開催されているが、家族主体の家族会ではないため意見交換までには至っていない。 <input type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 苦情申し立て窓口の明示や苦情箱の設置の趣旨などの説明はしているが苦情等は出ていない。	○	家族が訪問しやすい雰囲気作りはされているが、家族は見てもらっているという遠慮から、なかなか意見を言えないというのが本音である。家族会の設置や、以前に行ったことのある家族アンケートを継続して実施するなど、家族が意見を出しやすくする工夫が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 開設4年で管理者交代4回と異動が多く、なじみの職員による継続的ケアとは言いがたい。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。	○	運営推進会議で家族から質問があったように、管理者の異動が多い。現在は落ち着いているので、継続的な支援体制の維持を期待したい。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 研修参加の声がけはしているが、勤務上の問題などから各種研修への参加は少ない。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 研修に参加した時は職員会で報告をしている。	○	勤務上の問題などの理由はあるが、年間を通して研修(特に外部研修)への参加が少ない。サービスの質向上のためにも参加しやすい体制作りが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 県内の宅老所・グループホーム連絡協議会に加入して講演会、研修会などに参加している。 <input type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 同一法人内のグループホームとの交流はあるが、地域の同業者との交流はない。	○	他のグループホームの見学や相互の研修会を開く事により、日頃のケアに対する問題点などの解決の糸口がつかめることがあるので、サービスの質向上のためにも、交流の機会を持つことを期待したい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 アセスメントシートの活用、家族やケアマネジャーからの聞き取りなど、状況把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 おやつやレクリエーションの時間に利用者と一緒に過ごし見学や体験をもらっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 入居希望者の来所時には職員と一緒に話を聞くなど柔軟に対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 縫い物、掃除、食器ふき、洗濯物たたみなど利用者が出来ることは自分でしてもらうように心がけている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 メダカの卵をふ化させホールで大切に育てるなど、利用者と職員がお互いに協力し合うことにより、癒しの場を形作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 柿、文旦、イチジクなどの剪定を元大工さんに、さば寿司の作り方を得意な方に教わるなど、利用者が培ってきた技や得意分野を発揮してもらう場面作りが成されている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 ホーム独自のフェイスシートを活用して一人ひとりの意向の把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 家族の来所時や電話などで聞いた意見や要望をケアプランに反映指すとともに、同意の印ももらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 職員の担当制をとっており、3ヶ月に1回のモニタリングや月1回の職員会でのカンファレンスを行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 3ヶ月ごとの評価と6ヶ月ごとの見直しがなされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 本人の状態に合わせて期間設定をしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 法人の医療機関及び協力医療機関との連携により、生活の継続に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 事例はないが、ケースバイケースでターミナルケアの対応もできる。 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 家族が遠方に居住している利用者が多いので、通院に職員が同行するなどの支援が行われている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 家族が行けない場合は職員が同行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 受診ノートを活用して受診結果の共有をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 対応方針は定まっているが、それを基に話し合っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。 今までに事例はないが、必要な時は家族やかかりつけ医と連携し取り組む用意はある。	○	本部には終末期の指針はあるが、家族への文書での明示及び家族からの同意はない。ホームでの指針の保管及び家族への明示、家族からの同意が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 職員の対応は穏やかで、利用者の尊厳を傷つけるような対応は見られない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 採用時に誓約書を取り、利用者のプライバシーに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 採用時の契約で、個人情報の取り扱いについて文書化されており、個人情報保護に努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 ホームの隣がスーパーで、日々のちょっとした食材や、日用品などの買い物に気軽に行ける環境であり、利用者の希望に沿った柔軟な支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 食事のペースなどそれぞれの利用者に合わせて対応している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 献立は利用者から好きな物を聞き、料理の得意な人にはごぼうのササガキなどの下ごしらえを、他の人には盛り付け、配膳、食器洗いなどをしてもらい、利用者ができる事を大切に支援が成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことのできる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制などについて工夫している。 受診日の都合などで入浴日が特定の曜日に集中して利用者の希望通りにはならないことがあり、体調によっては入浴回数が少なくなることもある。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりに合わせた入浴支援を行っている。 入浴拒否の人には時間を置いて対応するなど、一人ひとりに合わせた入浴支援を行っている。	○	同行受診などにより職員の確保が難しくなることがあるようだが、1日当たりの入浴人数の見直しや時間帯の工夫を行うなど柔軟な発想で、入浴支援に対応することが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 読書の好きな人には職員が本を勧めてその感想を聞き、水彩画や硬筆が好きな人には練習や作品づくりを勧めるなど、何が各自の楽しみごとになるかを把握して支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 縫い物や庭木の剪定など利用者が活躍できる場面作りをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 台所仕事の好きな人、庭木の剪定が出来る人、踊りや歌の好きな人などそれぞれの好みや能力に応じて、役割や楽しみごとを作り出すための働きかけをしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 ホームの隣のスーパーは利用者にとっては馴染みの店であり、近所の理髪店もよく利用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 シルバーカーや車椅子を利用してよく散歩に出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 ホームの手作り弁当を持参して、コスモス畑、紫陽花街道、菊祭りなど季節ごとに花見や遊山などに出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 一人ひとりの外出習慣は把握しており、現在、一人で外出する利用者はいない。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 近所のタクシー会社や隣のスーパーなどと、声掛けや連絡をしてもらえる関係を築いている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 年2回法人母体である病院と合同非難訓練を実施している。また、ホームでは年2回自主訓練を実施しているが、地域住民の協力を得た避難訓練には至っていない。 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 非常用食料及び備品は十分な備蓄には至っていない。	○	いざという時、地域住民の協力があれば職員、利用者共に心強いので、運営推進会議や町内会を通じて、地域住民と合同の非難訓練を実施すると共に、十分な非常用食料・備品の備蓄を期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 食事摂取のチェックはしているが、水分摂取のチェックは十分されていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 食事の好みや刻み食の有無などを聴取し個別の対応をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 2カ月に1回栄養士にチェックしてもらっている。	○	栄養バランスに配慮して食事量、食事形態など個別の対応が出来ているが、水分摂取のチェックが十分できていない。日々の食事摂取量チェック時にできることであり、すぐに実施する事を期待したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 家庭で使われている馴染の家具などが設置されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 手作りの作品が家庭的な温かい雰囲気を感じさせ、居心地の良い飾りつけになっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 季節の草花が至るところに飾られ、装飾品も季節感のあるものを選び、季節感に配慮したものとなっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置おくなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 居室にはそれぞれ個性があり、その人らしい居室作りをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 職員のアイデアでその人らしい小物を配置するなど、居心地のよい居室作りに取り組んでいる。		